

# 広報・教育部門

応募事例名

## 大規模浸水対策事業の“伝える化”

### シールドマシン面盤の展示 ～百聞は一見(面)にしかず～

応募団体名)兵庫県西宮市上下水道局下水道部

西宮市では、合流式下水道の区域において、浸水対策・合流改善・災害対策を目的として、合流貯留管の整備を進めております。この事業は多くの費用と整備に時間を要することから、その内容を市民の方々に広く理解をいただくことが必要と考えております。そのことから、工事で使用したシールド機の面盤の実物を発信立坑の公園に展示するなどし、“百聞より一見(面)することから分かる”をコンセプトに広報啓発を進めています。



#### 説明板の伝える化

現地の説明板には、下水道の意義や合流貯留管整備工事の手順が書かれた説明板により、一見で視覚的の市民に分かり易く伝える。



#### 公園利用者へ伝える化

発信立坑として工事を実施した公園内にシールドの面盤を展示することで、利用者に対し、本工事の意義のほか市民の憩いの場としての公園が多様な機能を持っていることも伝える。

#### 市ホームページで伝える化

市のホームページの下水道サイトに下水道の意義や合流貯留管整備工事の手順などを説明した情報を、市民に分かり易く伝える。

#### 近隣学童・生徒に伝える化

近隣小・中・高等学校の学童・生徒に対し、下水道に関する校外学習授業の場として、活用していただき、下水道の役割意義を学んでもらう場とする。

#### マンホールカードマニアに伝える化

西宮市のマンホールカード配布場所であるクリエートにしのみや(ららぽーと甲子園2F)はカードにデザインされている甲子園球場や到達立孔の場所となった西宮東高校が近いため、現地案内ピラを設置するなど、マンホールカードマニアに対する情報発信を行う(8月予定)。

### ■PRポイント

工事現場となった浜甲子園運動公園内に展示することで、「ここでこのような工事が行われたのだ」と広く市民や後世に伝える発信力がある。またシールド面盤展示が単なる展示にとどまることが無いように、インターネットツールや説明板の設置など、さまざまな工夫を凝らした情報発信を行う。さらに、常に市民から愛される展示物となるよう、10年に1回は塗装を直す。また、発信する情報も常に更新するなどのメンテナンスを行う。設置費用は、現場環境改善費を活用した。この計画は、全長約6kmに及ぶもので、今スタートラインに立ったに過ぎず、今後、事業をやり抜くという職員の意味と決意を表すシンボルである。

### ■具体的効果について

(単なる展示の場合)

(さまざまな工夫をした場合)

3,000人/月(現地来場者) ⇒ 1,303,400人/月(現地来場者、HPアクセス数、他)  
の“伝える化”が可能となる